

題材名 (教材名)	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴こう。(歌舞伎「勧進帳」冒頭部長唄)				
目標	(1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、よさや美しさを味わって聴く。 (3) 勧進帳の長唄の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、我が国の音楽文化に親しむことができる。				
事項	【知】イ(ア)	【思・判・表】ア(ア)			
共事ア	取り扱う音楽を形づくっている要素 と その指導内容				
音色	唄(謡ガカリ・外記ガカリ)、楽器(囃子、細棹三味線)の音色の特徴				
テクスチュア	唄と楽器との関わり				
学習指導過程(全2~3時間)					
	主な学習活動	主な発問	評価		
個人の知覚感受及び音楽全体の流れ、概要を把握する。	I 1 知覚・感受① 冒頭部長唄をCDで聴き、音楽の特徴を把握する。(知覚・感受の両方、またはいずれかを把握する。知覚する要素を明確にする。)	① 冒頭部の長唄について学習します。 (場面1~5歌詞説明後)「場面1、2、3、4、5」にはどんな雰囲気や音楽の特徴がありますか。「声の音色や旋律」「楽器の音色や旋律」「楽器と唱との関わり合い」「感じや雰囲気」の4つに注目して聴き取り、①の表に書きましょう。(ア~ウは班で分担聴取可。) ②(発表後)出た意見を確認しよう。	(3) (2) ①		
	II 1 知覚・感受② I 1について具体的に知覚・感受する。(音楽を聴いて他者と意見を交流しながら、音楽の特徴について理解を深める。) ☆ 答え方を例示し、記述・発表しやすい環境を整える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> • ~な感じがしたのは、○○([共通事項])が△△(程度)していたから。 • 場面○と場面○の間に表現の違いを感じたのは、○○([共通事項])が△△(程度)していたから。 • ○○([共通事項])が△△(程度)することで、□□な感じ(効果)を出そうとしている。等 </div>	③ もう一度「冒頭部長唄の場面1、2、3、4、5」を聴きます。各場面で雰囲気やイメージに違いを感じたのはなぜか、①の表にまとめながら、 音楽の特徴 との関係性について考えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> • なぜ、~な感じがしたのだろう? • なぜ、場面ごとに表現の仕方が違ってくるのだろう? • 場面毎にどんな感じを出そうとしているのだろう? • ○○([共通事項])が△△(程度)することで、どんな感じ(効果)を出そうとしているのだろう? 等 ④(発表後に)出された意見を確認しよう。	(2) ① (1)▼		
他者と交流し、知覚・感受を深化させる。 音楽を聴きながら様々な要素、要素同士の関連に着目し、それらの働きによる音楽の雰囲気や表情の変化について					

深く味わって聴く。 学習内容を聞わせて 音楽に対する自分の考え方や解釈を言葉等で表し、	Ⅲ 1 概要把握 「歌舞伎」の歴史や特徴、あらすじについて学習する。	⑤ 歌舞伎「勧進帳」のあらすじや歌舞伎の歴史や特徴について学びましょう。	(2) ②
	2 歌舞伎の音楽の魅力について、自分の考えをまとめる。(学習内容をもとに、自分の考えをまとめる。班で伝え合い、自分と異なる考え方や気になる意見を追記する。) 3 書き上げた紹介文を交流し合い、多様な考えにふれる。	⑥ 歌舞伎の音楽にはどんな魅力がありますか。音色・テクスチュアにふれながら自分の考えを②にまとめ、皆で伝え合いましょう。また、自分の考えと違っていたり、気になったりした意見があれば、しっかり書き残しましょう。	

評価規準

(1) 知識	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	①音色、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ②曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴いている。	勧進帳の長唄の曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (それらの活動を粘り強く取り組み、各授業のめあてに向かって自分の学びを調整しようとしている。)